

中部・東海トピックス2008 道路

■概略

2008年の中部東海では、大きなトピックスとなる高速道路の「全通」が相次ぎます。名古屋高速清須線と、東海北陸自動車道です。いずれも未開通部分が結ばれ、当初計画の全線が完成。自動車専用道路がその機能を

フルに発揮するようになり、一般道経由の不便さも解消されます。スムーズな交通が実現し、混雑の緩和も期待されます。ほかに、名古屋から京都・大阪への新ルートとなる新名神高速の部分開通や、一部の有料道路が無料開放される予定などのニュースがあります。

名古屋高速6号清須線が開通



●今回開通した区間

明道町ジャンクション～清洲ジャンクションの7.0kmが2007年12月9日に開通。途中、庄内通、鳥見町に出入口が設けられました。これにより、都心環状線と16号一宮線、および東名阪道が直結され、**一宮、岐阜方面への所要時間が短縮**されるほか、名神高速経由で京都方面へ行く時の近道ともなります。

●料金について

清須線は名古屋市内線の一部という扱いになりますので、**現行通り普通車750円**が適用されます。また、鳥見町出入口～清洲ジャンクションはETC設置車の場合、ETC端末特定区間割引が適用され、550円となります。

●この冊子に掲載の内容は2008年2月までに収集した情報に基づいて編集しました。
●この冊子の内容に関しましては、今後も変更や中止などあり得ますので、あらかじめご承知おきください。
●この冊子の内容に関しましては、本体地図での掲載内容と表現が必ずしも一致するものではありません。
●許可なく転載・複製することを禁じます。



●名古屋周辺の今後

4号東海線が現在、山王ジャンクション(仮)～東海ジャンクション(仮)で建設中、**2010年度の完成**を目指しています。また、東南部の骨格を形成する**名古屋環状2号線**も、**2010年度の完成**を目指し、工事が進められています。

愛知県の有料道が続々無料化

●本坂トンネル

愛知県豊橋市と静岡県浜松市北区三ヶ日町とを結ぶ、国道362号線の県境部分の有料トンネル。2008年4月1日から無料開放しました。

●茶臼山高原道路

天竜奥三河国定公園内の景勝地、茶臼山から国道257号へと通じる、延長14.2kmの有料観光道路。2008年4月13日から無料開放しました。

●尾張パークウェイ

飛騨木曾川国定公園内を走り、犬山と明治村近くを結ぶ7.7kmの有料道路。地域交通や観光アクセスに利用されているこの道路も、**2008年6月から無料開放**となる予定。

新名神高速が開通

●2008年の開通区間

「第二名神高速」の仮称と呼ばれ建設が進められていた高速道路は正式に「**新名神高速道路**」と名付けられました。そして、2008年2月23日に亀山ジャンクション(東名阪道と接続)～草津ジャンクション(名神高速と接続)の間49.7kmが開通しました。



●名古屋～大阪・京都が近くなる

新名神高速は東名阪道経由で伊勢湾岸道とも接続します。従来の名神高速や、西名阪道～名阪国道～東名阪道経由と比べて**名古屋と大阪・京都との距離が短くなり**、所要時間も短縮されます。

●将来的な構想

新名神高速は現在、大津ジャンクションから城陽、八幡、高槻と経由して神戸ジャンクションまでの建設計画が進められています。将来的には、名古屋と京都・大阪・神戸を結ぶ**第二の高速道路**として機能する構想です。

東海北陸自動車道が全通

●開通予定区間

未開通だった飛騨清見インターチェンジ～白川郷インターチェンジが**2008年夏に開通**する予定です。この区間には全長1万712mの飛騨トンネル(関越道関越トンネルに続く日本第2位の道路トンネル)があります。

●ようやく全通! 東海～北陸が直結

これで、名神高速一宮ジャンクション～北陸道小矢部砺波ジャンクションまでが完全につながります。**東海地方と北陸地方をつなぐメイン路線**となるほか、中部縦貫道経由(2007年9月に高山インターチェンジまで開通)で**高山・奥飛騨への観光アクセス道路**ともなります。



三遠南信自動車道(飯喬道路)が部分開通



●「三遠南信」とは?

三河、遠江、南信濃の頭文字から名付けられています。文字通り、長野県飯田市から天竜川沿いに南下、静岡県西北部、愛知県東北部を経由し、静岡県に戻って第二東名高速引佐ジャンクション、東名高速三ヶ日ジャンクション(いずれも仮称、建設予定)に達する高規格幹線道路です。

●2008年の開通区間

中央道に新設される**飯田山本インターチェンジ**と**天龍峡インターチェンジ**の7.2kmが「飯喬道路」の一部として2008年4月13日に開通しました。

中部・東海トピックス2008 鉄道

概略

2005年の「愛・地球博」を目標に名古屋圏で相次いだ新路線の開業も一段落。最近の大きな話題は、台風被害で3年近く不通になっていたJR高山本線の復旧で

す。一方で、ローカル線の経営は一段と厳しさを増しており、近畿日本鉄道から子会社に分離された養老鉄道・伊賀鉄道がスタート。新しい経営改善の方策として注目されています。



JR高山本線が復旧!

●2004年の台風災害で不通に

2004年10月に日本を襲った台風23号は飛騨地方にも大きな被害をもたらし、**JR高山本線の角川～猪谷**は橋脚の流出など**甚大な被害**を受けました。宮川沿いの狭い谷あいと並行して走る国道も同様の被害を受けたため、台風直後は高山～猪谷までが不通となり、その後も復旧工事は難航。部分的に復旧してきたものの、**不通期間は約3年**にも及びました。

●ようやく復旧へ

しかし橋梁の掛け替えなど工事が進んだ結果、**2007年9月8日に全面復旧**しました。運転再開に際しては、飛騨古川以北を運休としていた**特急「ワイドビュー」ひだ**が、以前の通り**富山まで直通運転**を行うようになったほか、普通列車も従来通り、上下約17本が運転されます。

伊賀鉄道、養老鉄道って?

2007年10月1日より、近鉄伊賀線(伊賀神戸～伊賀上野)が**伊賀鉄道**へ、近鉄養老線(桑名～大垣～揖斐)が**養老鉄道**へと経営がそれぞれ引き継がれました。とはいえ、両社は近鉄の子会社。線路、車両などは近鉄が所有し、新会社へリースすることになります。近鉄本体は黒字経営で法令上、自治体からの補助金を受け取れないため、**経営が厳しいローカル線を分離**。公的な資金を投入して、路線の維持と改良に充てようという計画です。

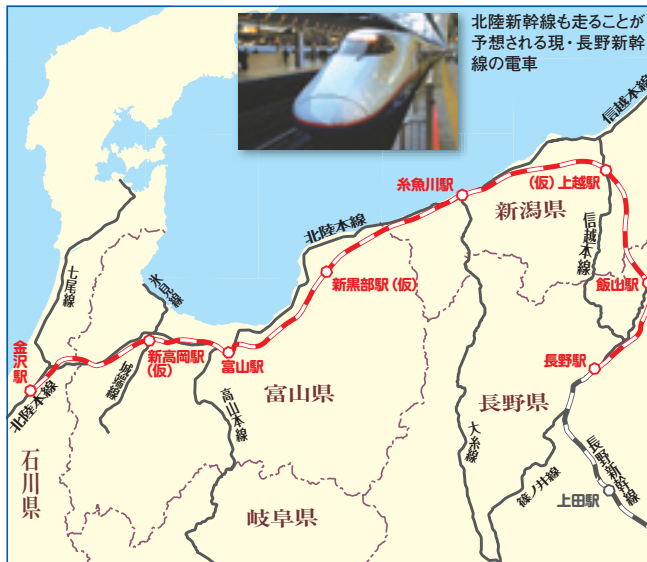


2007年10月1日から養老鉄道となった近鉄養老線

旧近鉄伊賀線の電車



北陸新幹線の建設が進行中



北陸新幹線も走ることが予想される現・長野新幹線の電車

●現在の工事進捗状況

高崎～長野(列車は東京から直通)はすでに「長野新幹線」として営業中ですが、**長野～富山～金沢**も全面着工されており、**2014年度に開業**の見込みです。現在、糸魚川～新黒部、石川県石動付近～金沢は路盤を含めてほぼ完成しており、トンネルや橋梁などがすでに姿を現しています。

中部・東海トピックス2008 合併

概略

いわゆる合併特例法による「平成の大合併」で全国的に市町村合併が進行しましたが、引き続き2005年(平成17年)4月に施行された「合併特例法(新法)」に基づく合

併が進行中です。少子高齢化による将来の財政難を見越して、行政規模を適正にするという理由が目立ちます。

2008年1月15日 新・豊川市(豊川市+音羽町+御津町)



●合併までの経緯

2005年12月=音羽町議会が「豊川市との合併協議を求める決議」を可決
 2006年2月=宝飯郡一宮町が豊川市に編入合併
 2006年9月=御津町議会が「豊川市との合併協議を求める決議」を可決
 2007年6月=豊川市・音羽町・御津町合併協議会を設置
 2007年8月=合併協定調印式
●新・豊川市のデータ
 人口=約16万人
 面積=150.43km²
 観光名所=豊川稲荷、旧東海道御油の松並木、山本勘助の墓、など
 特産品=バラ、シクラメン

2008年4月1日 新・島田市(島田市+川根町)

●合併までの経緯

2005年5月=島田市と金谷町が対等合併して、現在の島田市が新設
 2006年5月=島田市、川根町の両首長会議で川根町の島田市への編入合併で合意
 2006年12月=島田市・川根町合併協議会を設置
 2007年8月=合併協定調印式

●新・島田市のデータ

人口=約10万5000人
 面積=315.88km²
 観光名所=大井川鉄道のSL列車、川根温泉など
 特産品=茶



今後の合併計画

静岡県では、島田市以外にも合併へ向けての協議が進んでいます。

●静岡市+由比町

2008年11月に由比町を静岡市清水区に編入することで合意

●富士市+富士川町

2008年11月に富士川町を富士市に編入する方向で協議中

●焼津市+大井川町

2008年11月に大井川町を焼津市に編入することで合意

●藤枝市+岡部町

2009年1月に岡部町を藤枝市に編入することで合意

中部・東海トピックス2008 施設

概略

近年、「名古屋が元気」と言われますが、その象徴ともいえるエリアがJR名古屋駅前。通称「名駅」と呼ばれるところ。呼び水となったのが1999年オープンの「JRセントラルタワーズ」。以後、「ミッドランド

スクエア」「名古屋ルーセントタワー」といった超高層ビル群の完成が続きました。一方で、名古屋市郊外においては、「イオン」を中心として巨大ショッピングセンターが次々にオープンしています。また、日本最大級のダムとなる「徳山ダム」も完成間近です。

名駅周辺は今もアツい!



●名駅周辺の変遷

JR、名鉄、近鉄が集まるターミナルである名古屋駅は、かつては、栄など名古屋市の中心部から見ると「町外れ」に近い場所でした。それがJR東海の発足後、同社が「拠点」と位置づけたことから様相が変わりました。「JRセントラルタワーズ」には高島屋などが入店。もともとの交通の便の良さから、名古屋市のみならず中京地方一円からお客を集める商業の中心へ変貌を遂げたのです。

イオンの大型ショッピングセンターが各地にオープン!

●中部、東海エリアにも積極展開

全国的に巨大ショッピングセンターの開発を行っている「イオン」が、中部、東海圏でも新しい大型施設の建設を進めています。2007年には岐阜県各務原市に「各務原ショッピングセンター」がグランドオープンしたの続き、2008年の春から夏にかけても各地で新規開業が予定されています。いずれも鉄道の駅(新規に設置予定の駅を含む)または、高速道路のインターチェンジに近接しているのが特徴で、交通は至便。総合スーパーを核施設として、シネマコンプレックス、専門店などから構成されます。

イオン大高ショッピングセンター ↓

名古屋市緑区のJR東海道本線沿いに建設されたショッピングセンターで、**2008年3月にオープン**しました。敷地面積は8万5800㎡。なお、ショッピングセンター前の東海道本線には新駅「南大高(仮称)」が2009年に開業する計画もあります。



イオンかほくショッピングセンター

能登道路白尾インターチェンジに近い、かほく市内日角に建設中。敷地面積は16万9970㎡。**2008年秋にオープン予定**です。「ジャスコ」を核テナントとし、専門店、アミューズメント施設なども入ります。



イオン各務原ショッピングセンター ↑

2007年7月28日にグランドオープン。敷地面積は14万5822㎡ある県下最大のショッピングセンターで、ジャスコ各務原店、約180の専門店と、10スクリーンを有するシネマコンプレックス(ワーナー・マイカル・シネマズ)が入っています。東海北陸自動車道岐阜各務原インターチェンジから約1kmとアクセスも便利。

イオンりんくう常滑ショッピングセンター

中部国際空港(セントレア)の対岸、名鉄りんくう常滑駅北側に隣接する場所に**2008年夏のオープン**を目指して建設計画が進められています。敷地面積は約16万㎡。スーパー、アウトレットモール、シネマコンプレックスなどが入る予定です。

徳山ダムがいよいよ運用開始へ



●徳山ダムの役割

揖斐川の最上流部に建設されたロックフィルダムで、堤の高さ161m、同じく長さ427.1m、総貯水容量6億6000万tとなります。**総貯水容量などは日本最大**で、洪水調整、流量調整、利水、発電の4つの役割を担います。

●試験湛水から本格運用へ

運用開始予定は2008年度。基本的な工事はすでに完成して、試験的に水を溜めることが2006年9月25日から始まっています。これは2007年7月2日には最低水位に達しました。

●旧徳山村について

かつてダム建設が着工する前、現在のダムの上流地域には人口約1500人の徳山村がありました。が、**全世帯が移転**となりました。1987年3月末には徳山村も廃村となり、藤橋村に編入合併されています(藤橋村は2005年1月31日に揖斐川町へ合併)。